

## 付録 A. System i (iSeries, AS/400) と Telnet5250E 接続時のシステム構成

5400 エミュレーター II はシステム構成後に、自動的に System i (iSeries, AS/400) システムに接続されます。そのとき、System i (iSeries, AS/400) システム上では、次の構成 (サンプル) になっています。

DEVICE DESCRIPTION .....	DEVD	QPADEV0001
OPTION.....	OPTION	*ALL
CATEGORY OF DEVICE .....		*PRT
DEVICE CLASS .....	DEVCLS	*VRT
DEVICE TYPE .....	TYPE	5553
DEVICE MODEL.....	MODEL	B01
ADVANCED FUNCTION PRINTING ...	AFP	*NO
ON LINE AT IPL .....	ONLINE	*NO
ATTACHED CONTROLLER .....	CTL	QPACTL01
FORM FEED .....	FORMFEED	*CONT
SEPARATOR DRAWER .....	SEPDRAWER	*FILE
SEPARATOR PROGRAM .....	SEPPGM	*NONE
LIBRARY .....		
PRINTER ERROR MESSAGE .....	PRTERRMSG	*INQ
MESSAGE QUEUE .....	MSGQ	QSYSOPR
LIBRARY .....		*LIBL
IMAGE CONFIGURATION .....	IMGCFG	*NONE
DBCS FEATURE .....	IGCFEAT	
DEVICE FEATURE.....		2424J0
USER-DEFINED OBJECT.....	USRDFNOBJ	*NONE
OBJECT TYPE .....		*NONE
DATA TRANSFORM PROGRAM.....	USRDTAFM	*NONE
DEPENDENT LOCATION NAME.....	DEPLOCNAME	*NONE
ALLOCATED TO:		
JOB NAME.....		QPADEV0001
USER.....		QSPLJOB
NUMBER .....		015319
TEXT .....	TEXT	DEVICE CREATED FOR AS400.
USER-DEFINED OPTIONS .....	USRDFNOPT	



## 付録 B. 仕様一覧

### 稼働環境条件

	動作時	保存時
温度	5°C～40.6°C	-10°C～60°C
湿度	8%RH～80%RH	5%RH～80%RH
湿球温度	26.7°C以下	

### 電機的仕様

入力電源	90V～127V (AC アダプター使用時)
周波数	47Hz～63Hz (AC アダプター使用時)
消費電力	2.5W
熱量	2.15kcal/h

### 物理的仕様

寸法	56mm (幅) × 97.5mm (奥行) × 27mm (高さ)
重量	75g



## 付録 C. Windows2000/XP 使用時のプリンターポート設定

Windows2000/XP でのご使用時には、標準の3種類のプリンターポートのうち2種類（いずれも LPR）が使用できます。本 5400 エミュレーター II では LPR PORT (UNIX 印刷サービス) でのご使用をお勧めします。

### 1. LPR PORT (UNIX 用印刷サービス) をご使用の場合についてのご注意

① 11 個を超える複数ジョブ (12 個目のジョブ) の印刷が遅れる現象が発生する場合があります。この問題は、Windows NT/2000/XP において、LPR で利用できるポート数に制限があるためです。この現象は、Windows 上のレジストリを変更することにより修正できます。レジストリの変更方法につきましては、マイクロソフト社の下記ホームページをご参照ください。

<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;179156>

② きわめてまれではありますが、プリンター側のデータ受信処理の遅れに起因する Windows 側のタイムアウトが生じ、その結果ジョブの再印刷が起きる場合があります。そのような場合には、Windows 上のレジストリ中のタイムアウト値を変更する必要があります。このレジストリの変更方法について不明な場合は、お買い上げの弊社ビジネス・パートナー、製品販売店又は弊社プリンターサービスセンター (046-215-4517) にご相談ください。

### 2. Standard TCP/IP ポートで LPR をご使用の場合についてのご注意

数十ページ以上に及ぶ大量のデータの印刷がおこなわれると、プリンター側のデータ受信処理の遅れに起因する Windows 側のタイムアウトが生じ、その結果ジョブの再印刷が起きる場合があります。そのような場合には、前述の LPR PORT (UNIX 用印刷サービス) をご使用ください。

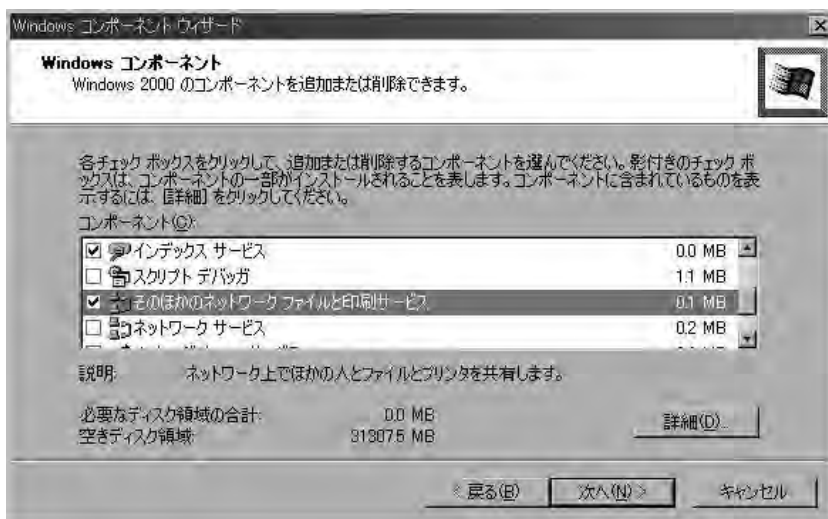
### 3. LPR PORT (UNIX 用印刷サービス) をご使用の場合におけるプリンターの作成

\* 以下は、Windows2000 Professional で操作をおこなった場合の例です。

#### 3.1 LPR PORT の有効化

LPR PORT を使用するために、まず LPR (UNIX 用印刷サービス) を導入します。

- 1 Windows2000/XP 上で、「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を実行し、「アプリケーションの追加と削除」を起動します。
- 2 「Windows コンポーネントの追加と削除」をクリックすると、「Windows コンポーネントウィザード」が表示されます。
- 3 「Windows コンポーネントウィザード」が表示されたら、リストの中から「その他のネットワークファイルと印刷サービス」をチェックします。



- 4 「詳細」をクリックし、「UNIX 用印刷サービス」にチェックを入れて「OK」をクリックします。正常に終了すると、「Windows コンポーネントウィザードの完了」が表示されます。



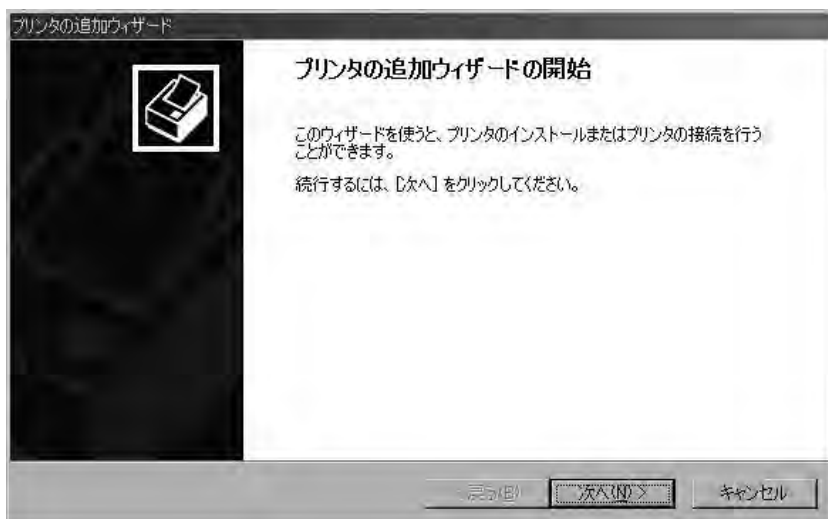
[注意] 「UNIX 用印刷サービス」は、「スタート」→「ネットワークとダイヤルセットアップ接続」の中の、「ローカルエリア接続」の設定で、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が組み込まれていないと表示されません。

### 3.2 プリンターの作成 (LPR PORT <UNIX 用印刷サービス>の場合)

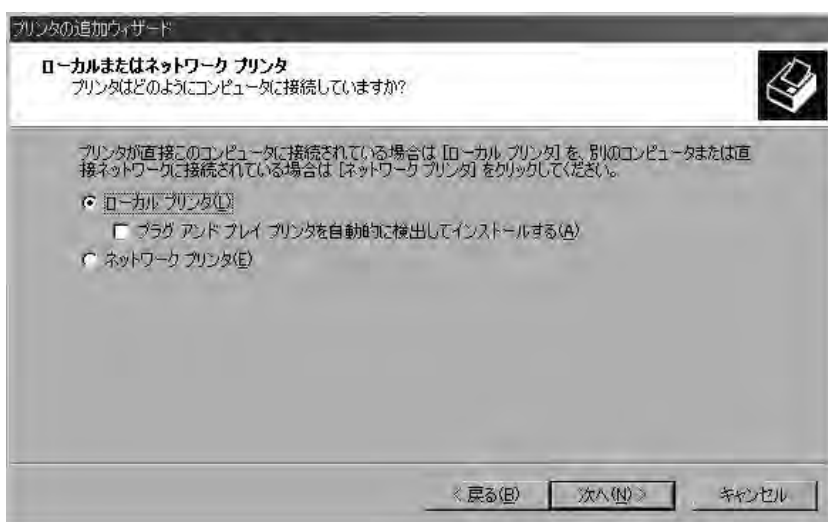
<前提条件>

Windows2000/XP が Ethernet に接続されており、TCP/IP を使用して 5400 エミュレーター II と通信ができることが必要です。5400 エミュレーター II には、適切な IP アドレス（必要に応じて、サブネット・マスク、デフォルト・ゲートウェイ・アドレス）が設定されているものとします。

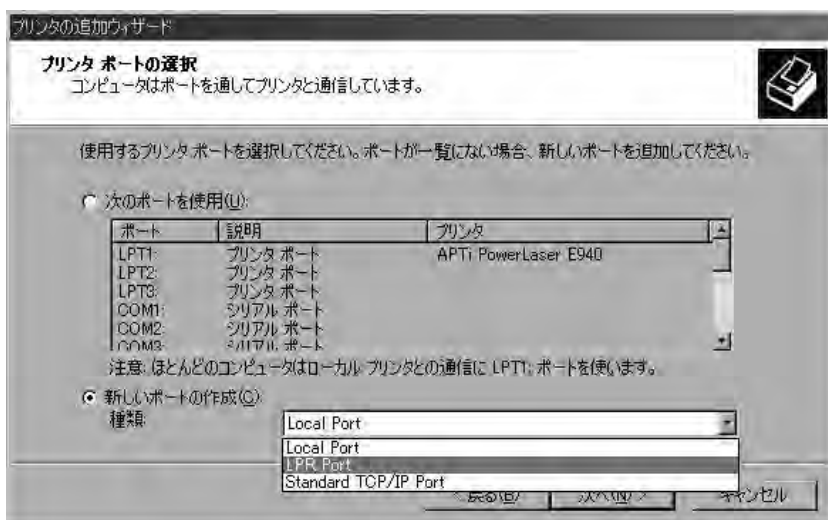
- 1 スタートメニューより、「設定」→「プリンタ」を選択します。「プリンタの追加」をダブルクリックします。
- 2 「プリンタの追加ウィザード」が表示されますので、「次へ」をクリックしてください。



- 3 「ローカルプリンタ」を選択し、「次へ」をクリックします。「プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする」にはチェックを入れないでください。



- 4 新しいポートの作成で、下記の画面のように、「LPR Port」を選択してください。



- 5 ここでさらに、「次へ」のボタンをクリックすると、下記の「LPR 互換プリンタの追加」画面が表示されます。



ここで「LPD を提供しているサーバーの名前またはアドレス (N)」には「IP アドレス」を、「サーバーのプリンタ名または印刷キュー (R)」には「PRx」(または、PRESCPx か PRSCSx)を入力してください。入力後、「OK」ボタンをクリックすると入力が完了し、LPR Port (UNIX 用印刷サービス)におけるプリンターの作成の設定が終了します。





InfoPrint Solutions Company™

インフォプリント・ソリューションズ・ジャパン株式会社

〒104-8222 東京都中央区銀座8-13-1

Printed in Japan



GA88-0258-02